



# あそび

## 議会だより

令和4(2022)年8月15日【第168号】

### FCルゾーサ興部 (U-12以下)

- 第2回町議会定例会 29～39・59～79 ■町政ここが聞きたい 49～59
- 第2回町議会臨時会 89 ■産業建設・総務社会常任委員会所管事務調査報告・議員活動報告 99～129
- 矢野幸三議員が自治功労表彰受賞 129 ■議会の動き 139 ■今回の表紙・編集後記 149

# 令和4年第2回 町議会定例会のあらまし

令和4年第2回定例会は、6月17日(金)開会され、町長の行政報告、承認1件、報告3件、議案12件、諮問2件、発議6件、計24案件が審議されました。

## 町長行政報告

### 新型コロナウイルス感染症について

全国で減少傾向にあるものの未だに感染者が絶えない新型コロナウイルス感染症は、興部町においても4月から5月にかけて毎週複数名の感染者が発生していましたが、6月に入ってから感染者が出ておらず少し落ち着いたようです。

しかしながら今後も暫くはこのような状況が続くものと思われるので、町民皆様におかれましては引き続き適切な感染対策を講じながら生活を送られるようお願いいたします。

なお、4回目のワクチン接種については、対象者で接種を希望する方に対し、6月下旬頃から開始していきます。

## 教育関係

興部高等学校への新入学生徒については、入学試験受験者15名全員が合格し、入学したところです。

今後も興部高等学校間口確保対策協議会及び、西紋地区教育文化振興会が中心となり、継続した支援を行うとともに、本年度興部高等学校内に開設します公営塾の取り組みをはじめ、将来を見据えた各種施策を推進していきます。

## 農作物の作況

本年の1番牧草は、日照時間は平年並みであったものの、5月の降水量としては多く、また気温についても平年を上回る日が多かったため、平年よりはやや早い生育状況となっております。

また、飼料用トウモロコシについても、5月中旬の好天により播種作業が順調に進み、出芽状況についても平年よりやや早い生育状

況となっております。

しかしながら、6月に入り低温と日照不足が続いていることから、今後の生育の遅れが懸念される場所です。

## 生乳生産

今年度の計画乳量は6万6千360tで、5月末現在の生産乳量は、昨年同期で9・7%の増、計画乳量対比では0・6%上回る3万3千333tとなっております。



牧草刈取り

## 漁業生産の状況

本年度の水揚計画数量は、前年計画比4%減の1万9千805tで、毛ガニ漁は前年対比23%増の32t、さげ定置網漁は前年同様の1千500tです。

ホタテ漁は前年計画に対して3%減の1万6千500tの計画であり、4月25日には沙留漁業協同組合・ほたて貝漁業生産部会と北オホーツク農業協同組合のご厚意により、今年もホタテとバター・練乳の無料配布が行われたところです。

5月末現在の水揚げ量は、ホタテ漁では前年同期比74%減の1千410t、毛ガニ漁では33%増の24tです。

ホタテの稚貝放流については、4月15日からC海区に2億2千900万粒の放流を計画しており、地方産については、5月19日に放流を終え、地元沙留産については、4月25日から放流を始め、6月9日に終了し



沙留漁業協同組合・ほたて貝漁業生産部会・北オホーツク農業協同組合から  
ホタテとバター・練乳の無料配布

ています。

また、5月30日よりホタテ漁の本操業が開始されたところですが。

## バイオマス事業に係る 取り組みについて

興部町、大阪大学、エア・ウオーター北海道株式会社、岩田地崎建設株式会社の4者による、バイオガスのメタノール・ギ酸変換技術開発に係る光化学技術パイロットプラントが興部北興バイオガスプラント敷地内に完成し、5月26日に記者発表を行うとともにパイロットプラントの竣工式及び内覧会を開催しました。

なお、本技術開発はバイオマス資源を有効活用したカーボンニュートラルなエネルギー創造という画期的な取り組みであり、興部町ではこの研究開発事業により、カーボンニュートラル循環型酪農システムの基盤形成を目指してまいります。

## 建設工事の発注状況

6月1日現在で「土木・水道工事70%」、「建築工事50%」となっております。なお、残余の工事につきましても準備が整い次第、随時発注してまいります。



元町公住道路改良舗装工事

# 町政ここが聞きたい!!

**問** 外国人労働者に対する施策と今後の計画について

鈴木精一議員

**答** 第6期興部町総合計画の後期計画検討の中で、協議会を立上げ今後に向け対応する 碓 一寿町長



鈴木議員 今般「まちづくり推進課」が創設されたが、外国人労働者などの労働力確保による町づくりの展望を聞きたい。

人手不足により、産業衰退が目に見える形になりつつあり、昨年沙留で1社、今年興部で1社、町内で数少ない水産加工場が廃業した。町の喫緊の課題は、特に外国人労働者にこの町を選んでもらえるような施策が

必要。  
紋別の例では、交流事業として運動会や新年会を開催。日本語講座の開設や路線バスの市内区間を100円で利用できる乗車証の発行。研修を終えた実習生に

対し市長から記念品や感謝状を贈るなど心温まる支援がなされている。  
また、企業で就業体験をするインターシップ事業を展開し、定住人口の増に努めている。

本町も独自の施策を行うべきと考えるが。  
碓町長 現在第6期まちづくり総合計画の後期計画の検討に入っている。海外の実習生・研修生を受け入れている事業団体と町、農協や漁協の協力を得ながら協議会を早急につくり、その中で今後の対応を考えた。総合計画策定委員会の中でも協議してもらいたい。

**問** 沙留地区雇用者住宅建設に係る支援について

鈴木精一議員

**答** 北海道の補助金の交付状況を見た上で、対応したい

碓 一寿町長

鈴木議員 漁組が事業主体で外国人向け雇用者住宅の建設が計画されている。実態は、漁組のみならず他の水産会社の入所希望もあり、その点も考慮した設計である。紋別に住居を構えさせる選択もある中、町へ

の税収面等を考え、外国人全員を対象に沙留地区に住んでもらう計画であり、部屋数46室である。  
この建設は、町の総合戦略や過疎地域持続的発展市町村計画にも合致するものであるが、補助金は北海道

のみと聞いている。  
現在、町の就労者住宅建設に対する支援策として、民間賃貸住宅建設支援事業があり、昨年1棟5千万円程を助成している。漁組の計画では、内部に研修機能を併せ持つ宿舎であり、北



海道の支援と合わせ、町からの助成も必要と思うが。

**【砂町長】** この事業については、北海道の「地域づくり総合交付金」で対応したい。この補助金は事業費の1/2以内となっており、今回の事業費が約2億円であることから、1億円の補助申請をしている。

いま、海外からの研修生を受入れるためには、その町や会社の住環境が非常に重要である。

北海道の補助金の状況を見た上で、また漁組から話があれば、議会に相談し対応したい。

## 専決処分を承認した案件

令和3年度興部町一般会計補正予算  
(専決処分第8号)

補正額は、補正前と同額で、歳入歳出それぞれ59億4千660万9千円とし、原案どおり承認した。

補正内容は、国庫支出金の未収入による財源調整に係る歳入予算の補正。

## 令和4年度興部町一般会計補正予算(第2号)

補正額は、8千836万円を追加し、歳入歳出それぞれ49億6千326万円とし、原案どおり可決した。

### 歳出の主なもの

○簡易水道事業特別会計繰出金  
4千520万円増

○公私連携幼保連携型認定こども園施設整備事業  
1千300万円増

○町有地管理事業  
750万円増

○ふるさと応援寄附事業  
530万円増

○税務総務費一般経費  
300万円増

○興部秋里間道路改築事業  
251万円増

○低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分)事業  
210万円増

○新型コロナウイルスワクチン接種事業  
209万円増

○地域情報通信基盤整備事業  
200万円増

## 特別会計等補正予算

特別会計3会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①令和4年度興部町後期高齢者医療に関する特別会計補正予算  
(第1号)

補正額は、29万円を追加し、総額6千187万円とした。

主役は  
あなたです!

# 議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は9月です○

会期：9月8日(木)～16日(金) (予定)

一般質問：9月8日(木) (予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を11席に制限しております。通常時の傍聴席は、28席です。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議の傍聴は、発熱などで体調がすぐれない方はご遠慮ください。傍聴時には、手指の消毒・咳エチケット(マスク着用など)にご協力をお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 Tel 82-2135

補正内容は、窓口負担割合の見直しに伴う保険者証の発送経費等の増額。

②令和4年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算

(第2号)

補正額は、補正前と同額で、総額2億6千818万円とした。

補正内容は、歳入でコロナの影響による支援助策として、一般家庭等の水道基本料金の減免、飲食店及び宿泊業の水道料金の全額免除に係る使用料の減額及び減額分の補てんとして一般会計繰入金金の増額。

③令和4年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算

(第2号)

補正額は、補正前と同額で、総額3億8千113万円とした。

補正内容は、歳入でコロナの影響による支援助策として、飲食店及び宿泊業の下水道料金の全額免除に係る使用料の減額及び減額分の補てんとして一般会計繰入金金の増額。

## 改正された条例

○興部町税条例等の一部を改正する条例

○興部町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

○興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

## 人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、再度、田中啓一氏、渡辺慈晴氏を適任者として認めた。

## その他議決された案件

○北海道市町村総合事務組合規約の一部変更

○北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更

○財産の取得

①IP告知端末等

取得価格

1千63万7千円

契約の相手方

株式会社 つうけんアドバンスシステムズ

②X線一般撮影装置

取得価格

946万円

契約の相手方

株式会社 常光 北見営業所

## 報告された案件

○令和3年度興部町一般会計予算継続費繰越計算書の報告

○令和3年度興部町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

○令和3年度興部町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

## 意見書の採択

○安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書

提出者 小泉 優子議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 桑辺 博教議員

・新型コロナウイルスによる感染拡大は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼし、医療をはじめとした社会保障・社会福祉体制の脆弱さを鮮明にして、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がりました。

国民のいのちと健康、暮らしを守り、新たなウイルス感染症や大規模災害などの事態に備えることが喫緊の課題となっており、国民が安心して暮らせる社会実現のために安全・安心の医療・介護・福祉提供体制を確保すること、社会保障・社会福祉にかかわる国庫負担を増額し、75歳以上の窓口負担2倍化を中止するなど国民負担を軽減すること等を求める意見書を提出する。

○2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者 竹内 清議員

賛成者 阿部 昭一議員

賛成者 藤渡 昭博議員

賛成者 鈴木 精一議員

・北海道最低賃金の引き上げは、ワーキングプア(働く貧困層)解消のための「セーフティネット」の一つとして最も重要なものです。

令和4年度の北海道最低賃金の改正に当たって、経済財政運営と改革の基本方針(骨太方針)を十分尊重し、経済の自律的成長の実現に向けて、最低賃金を大幅に引き上げること。また、設定する最低賃金は、経験豊富な労働者の時間額が、道内高卒初任給(時間額1千42円)を下回らない水準に改善すること等を求める意見書を提出する。

○地方財政の充実・強化に関する意見書

提出者 桑辺 博教議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 小泉 優子議員

賛成者 矢野 幸三議員

・地方公共団体には、急激な少子・高齢化の進展にもなう子育て、医療・介護など社会保障制度の整備、また、人口減少下における

地域活性化対策、脱炭素化をめざした環境対策、あるいは行政のデジタル化推進など、より新しく、かつ極めて多岐にわたる役割が求められている。

2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、社会保障の維持・確保、防災・減災また、脱炭素化対策、地域活性化にむけた取り組みや、デジタル化対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それを支える人件費も含めて、十分な地方一般財源総額の確保をはかること等を求める意見書を提出する。

○義務教育費国庫負担制度 堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

提出者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員  
賛成者 小泉 優子議員  
賛成者 桑辺 博教議員

・義務教育費国庫負担制度は、地方自治体の財政状況に左右されずに教職員を安定的に確保するために、教職員の給与の一部を国が負担する制度です。この制度における国の負担率が2006年に1/2から1/3に変更されました。

国の責務である教育の機会均等・水準の最低保障を担保するため、義務教育費を無償とすること、義務教育費国庫負担制度堅持と負担率を1/2に復元し、「30人以下学級」の早期実現にむけて、小学校1年生～中学校3年生の学級編成標準を順次改定すること。

また、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するため、計画的な教職員定数改善による実質的な教職員増の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため、必要な予算の確保・拡充を図ること

と等を求める意見書を提出する。

○補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書

提出者 藤渡 昭博議員  
賛成者 阿部 昭一議員  
賛成者 竹内 清議員  
賛成者 小泉 優子議員  
賛成者 前田 義雄議員

・聴力に障害があり、障害者総合支援法の身体障害者障害程度等級2級～6級に該当する場合は補聴器が「補装具費支給制度」の対象とされているが、軽度・中等度難聴（児）者については、「補装具費支給制度」の対象となっていない。

軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費等助成制度は、全ての都道府県で創設されているが、自治体によって制度の内容が大きく異なっており、成人については、制度そのものがない自治体もある。

どの自治体に住んでも、十分な補助が行われるべきであり、国の財政負担により、全ての年齢における軽度・中等度難聴（児）者等に対する補聴器の購入費及び修理・維持費に対する補助を実施すること等を求める意見書を提出する。

○森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 前田 義雄議員  
賛成者 阿部 昭一議員  
賛成者 藤渡 昭博議員  
賛成者 竹内 清議員  
賛成者 鈴木 精一議員

・本道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林・林業・木材産業によるグリーン成長が実現できるように、施策の充実・強化を図ることが必要である。

森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。

また、森林資源の循環利用を一層推進するため、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用の促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること等を求める意見書を提出する。

# 臨時会報告

## 令和4年 第2回町議会臨時会

4月28日(木)に開会され承認案件1件、議案7件が審議されました。

### 行政報告

#### 新型コロナウイルス感染症について

3月21日にまん延防止等重点措置が全国で一斉に解除された以降も収束の気配が一向に見えない新型コロナウイルス感染症は、未だに国内で5万人、道内では3千人前後の感染者数が続いています。

当町においても、4月1日以降に保育施設を利用する児童及び保護者等への感染が拡大したことから、幼稚園、保育所並びに小中学校を休園・休校とするなどの対策を講じ、感染拡大の防止に努め

たことにより一定の抑止効果があったものと考えますが、オホーツク管内では感染者が100人前後の高止まりで推移していること、また、明日からはゴールデンウィークを迎え、人の流れがより活発となることで感染の拡大が懸念されるので、町民の皆様には引き続き感染予防対策の徹底をお願いするものです。

#### 高病原性鳥インフルエンザの発生について

4月8日に町内で回収された死亡野鳥(ハシブトガラス)からA型鳥インフルエンザの陽性反応が確認され、18日に検査機関での遺伝子検査により高病原性インフルエンザウイルス(H5N1亜型)であることが判明しました。このことにより、野鳥回収地点の周囲10kmが野鳥監視重点区域となり、5月6日まで区域内における野鳥の大量死等の

有無についての監視が強化されることとなります。

なお、高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除き、通常では人に感染しないと考えられています。死亡している野鳥を発見したら決して触らずに、役場まで連絡をいただきますようお願いいたします。

#### 専決処分を承認した案件

○令和3年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第7号)  
補正額は、888万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ59億4千660万9千円とし、原案どおり承認した。  
補正内容は、大雪による除排雪作業の増加による国庫補助金及び道支出金の増額。

#### 一般会計補正予算

○令和4年度興部町一般会計補正予算 (第1号)  
計補正額は、190万円を追加し、歳入歳出それぞれ

48億7千490万円とし、原案どおり可決した。

○簡易水道事業特別会計繰出金  
120万円増

○公共下水道事業特別会計繰出金  
70万円増

#### 特別会計補正予算

特別会計2会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①令和4年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号)  
補正額は、補正前と同額

で、歳入歳出それぞれ2億6千818万円とし、原案どおり可決した。  
補正内容は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店及び宿泊業における、水道使用料の半年分の減免延長に係る予算を補正。

②令和4年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号)

補正額は、補正前と同額で、歳入歳出それぞれ3億8千113万円とし、原案どおり可決した。  
補正内容は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店及び宿泊業における、下水道使用料の半年分の減免延長に係る予算を補正。

#### 改正された条例

○町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
○特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
○町職員の育児休業等に関する条例

#### その他議決された案件

○興部下水終末処理場電気設備更新工事請負契約締結契約金額  
1億4千850万円  
契約の相手方  
北盛電設 株式会社

所管事務調査報告

# 産業建設常任委員会

北オホーツク農業協同組合出資型生産法人支援事業について



北オホーツク農業協同組合出資型生産法人(株)Farm tomo (ファームトモ)を5月23日に調査しました。

オホーツク管内初となる研修機能付き生産牧場で、成牛舎には搾乳ロボット2台、6頭シングルパーラーを備えています。その他に育成舎、哺乳舎などがあり、現在、経産牛142頭、育成牛69頭、合計211頭の飼養をしています。

昨年の4月から牛の導入を図り、6月から生乳を出荷し、ここまで順調に生乳生産を伸ばしてきましたが、コロナ禍などによる牛乳の需要の落ち込みを受け、生乳の生産抑制を図ることになりました。今年度の当初計画より4割近くを削減し、本年度の目標生産出荷量は1千94・5tとなりました。生産資材の高騰などもあり大変厳しい中で2年目の本格操業となり

ます。牛乳、乳製品の消費拡大に向け町民のご理解とご協力を頂きたいとお話がありました。研修生については、多くの大学や専門学校から短期の研修希望があるようです。新規就農を目指す研修生も本格的に募集をすることです。(株)Farm tomo (ファームトモ)がこれから多くの研修生を受け入れ、地域の魅力を伝え、新規就農

はもちろん、いろいろな形で酪農を支え、地域を支える担い手を育てる研修牧場として育つていっていただきたいと思います。

(記)産業建設常任委員会  
委員長 藤波 昭博



成牛舎 (外観)



成牛舎 (内部)



搾乳ロボット

所管事務調査報告

# 総務社会常任委員会

## 子ども・子育て支援施策について



令和4年5月17日、総務社会常任委員会は、「子ども・子育て支援施策について」教育委員会及び産業振興課が所管する事務について調査しました。

教育委員会所管の事業は、管理課 船水課長、社会教育課 多田課長、高坂係長より説明がありました。

### 教育相談業務

興部中学校では、教育相談を月1〜2回、スクールカウンセラーの派遣を受け、実施しています。

### 特別支援教育

特別支援学級支援員の配置、ことばの教室などの支援、特別支援学級就学生には、収入に応じて学用品・給食費等の一部を助成。

### 学校保健

小学校では虫歯予防のためフッ化物洗口を希望者に毎週1回実施。

### 学校安全

子どもの安全のため、「子ども110番の家」114軒、通学路の常時点検の実施。

### 高等学校との連携・支援

小・中学校での夏・冬休みの勉強会に興部高校生が学習ボランティアとしてサポートしています。

興部高校間口対策、生徒確保、保護者の負担軽減のため、町では予算を確保、また、高等学校等に就学する生徒には、条件はありま

すが奨学金の交付をしています。

### 小・中学校教育

沙留小学校では複式学級解消のため、町単独での臨時教員を配置しています。

情報化に対応した学習のため、各小・中学校にパソコン等の配置整備をしています。

児童・生徒の外国語授業に対し英語指導手を招へいし、各学校へ派遣しています。

経済的な理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費、給食費等の助成、中学生の部活動として中体連大会へ参加する経費に対する補助をしています。

### 子育て家庭（就学前）への教育支援

幼児教育、子育て交流として、はまなす幼稚園、興部・沙留保育所に幼児学級を開設、自主学習、子育てサークルの支援を実施。

### 児童の放課後対策

児童の放課後対策として、学童保育、沙留では専任の推進員による学習支援等の実施をしています。

### 各種体験活動の推進・芸術文化鑑賞・スポーツ活動等

町内外の講師による幼児（中学生に対する各種体験事業、自然生活体験として、キャンプ、芸術文化鑑賞会を年1回実施、文化関係コンクール等の大会出場に対し経費の補助をしています。

中学生には、管内リーダー養成研修、小学生には、地域を越えて仲間づくり研修、体育振興事業として、スポーツ活動を通して、子育て支援、水泳、スキー、トランポリン、ノルディックウォーキング、登山等。

スポーツ少年団活動費補助として、各種スポーツ全国・全道大会出場補助、町内体育施設の利用料高校生以下無料。

## 図書館

読書普及推進のため、定期的に読み聞かせ会、図書館まつり、小・中学生対象に読書感想文コンクールの実施、毎年図書整備、新書購入。

ブックスタート事業として、赤ちゃん向け絵本2冊と読み聞かせガイドブックをプレゼント。

その他読書普及推進事業として、夏・冬休みに小学生対象に図書館での宿泊体験教室、工作教室などの実施。

以上、興部町教育委員会での令和4年度幼児から高校生への支援施策に対する予算額は、約8千240万円となっております。

次に産業振興課 武田課長、小川課長補佐より説明がありました。

興部町では、新生児出生記念食器贈呈事業、木材普及啓発を目的として、生後100日の記念に木製食器の贈呈をしています。

令和3年度から開始、令和3年度には11人の赤ちゃんに贈呈されました。

日本におきましては、少子高齢化社会となっております。

近年、夫婦共働きも多く、また、ひとり親家庭での育児、教育には、親の負担が大変おおくとなっております。

興部町では子育て教育に対する支援が各種あります。おおいに活用し、子育てしていただきたいと思えます。

(記・総務社会常任委員会)

副委員長 小泉 優子

## 議員活動報告

### 議会全員協議会

議長 山川 孝義

4月27日、6月8日、7月19日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

#### 4月27日

○人事院勧告に基づく給与改定について

○育児・介護休業法の改正について

○令和3年度ふるさと応援寄附事業について

○4者連携によるメタノール・ギ酸変換技術開発共同研究事業の進捗について

○令和3年度除雪事業補助金の新規配分等に伴う専決処分について

○旧沙留中学校跡地利用計画について

○国民健康保険病院 入院セットの導入について

○はまなす幼稚園及び興部

保育所における新型コロナウイルスの集団感染について

○新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況について

#### 6月8日

○牛乳・乳製品の消費拡大事業について

○新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上下水道料金の減免支援について

○新型コロナウイルスワクチンの4回目接種の実施について

○幼保連携型認定こども園整備の事業進捗状況について

○令和3年度会計予算の国庫支出金の未収について

○興部町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について

○興部町国民健康保険条例例の一部改正について

7月19日  
○令和4年度議会報告会(意見交換会)について

### 議会運営委員会

委員長 竹内 清

4月28日、6月13日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

#### 4月28日

○令和4年第2回議会臨時会の運営について

○議会報告会(意見交換会)について

#### 6月13日

○令和4年第2回議会定例会の運営について

○議会報告会(意見交換会)について

### 議会改革特別委員会

委員長 阿部 昭一

6月8日、委員会を開催し次の事項について協議しました。

#### 6月8日

○なり手不足対策協議事項課題検討項目(2)「報酬」について

○常任委員会の委員定数について

○次回の検討内容と開催日について

## 矢野幸三議員が

### 北海道町村議会議長会 自治功労表彰を受賞

このたび、矢野幸三議員が、15年以上にわたり町議会議員として地方自治の振興発展に寄与貢献された功績により、北海道町村議会議長会会長より自治功労表彰を受賞し、第2回町議定会定例会開会前に山川議長から表彰状の伝達が行われました。



## メタノール・ギ酸製造

### パイロットプラント見学

4月28日、興部北興バイオガスプラントの敷地内に新たに整備されました、『メタノール・ギ酸製造パイロットプラント』の見学を行いました。

このプラントは、令和2年に家畜ふん尿由来のバイオガスから、メタノール・ギ酸の製造に世界で初めて成功して以来、量産化技術の開発へ向けて、町と大阪大学、エア・ウォーター北海道(株)、岩田地崎建設(株)で進められており、この度、実験用の建屋が完成したものです。

今後ここで行われる研究開発は、資源・エネルギーの地産地消、持続可能なまちづくりの推進に向けて、大きく期待されています。



メタノール・ギ酸製造 パイロットプラント (内部)



メタノール・ギ酸製造パイロットプラント (外観)



## 議会の動き

令和4年5月13日以降

5月17日・総務社会常任委

員会所管事務調査

19日・高規格道路旭川・

紋別自動車道早期建設促進期成会総会

・オホーツク紋別空港利用・整備促進期成会総会

23日・産業建設常任委員会所管事務調査

27日・西紋別地区総会開発期成会網走要望

28日・オホーツク圏活性化期成会定期総会

6月2日・遠紋地区市町村

議会議長会総会  
・議会全員協議会  
・議会改革特別委員会

12日・遠軽駐屯地創立71周年記念式典

13日・議会運営委員会  
14日・北海道町村議会  
15日・議長会第73回定期総会

15日・紋別地区消防組合議会第1回臨時会

17日・第2回町議会定例会（1日目）

・議会広報特別委員会

22日・西紋別地区総会  
23日・開発期成会札幌要望

7月6日・北海道町村議会  
7日・議長会議員研修会

8日・オホーツク圏活性化期成会農林水産専門委員会

・遠紋地区市町村議会議務局長及び事務局職員合同研修会

12日・戦没者追悼式

13日・総務社会常任委員会所管事務調査

14日・沙留海水浴場海上安全祈願祭

19日・議会全員協議会  
・議会広報特別委員会

20日・オホーツク圏活性化期成会中央要望（夏季）及び西紋別地区総

23日・開発期成会中央要望

25日・西紋別地区教育文化振興会総会

26日・議会報告会（沙留）  
27日・議会報告会（興部）

28日・オホーツク町村議会議務局長研修会  
29日・議会広報特別委員会

8月2日・全道林活議連  
3日・絡会定期総会

## 興部町議会ホームページのご案内



興部町議会のホームページには、過去10年間の議会だよりを掲載しています。

議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載していますので、是非ご覧ください。

### ■ホームページアドレス

<https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>



# 今回の 表紙

## FCルゴース興部 (U-12以下)

サッカーの起源は実は不明で、最有力説は中国起源とか。英国が発祥との説が一般的と思っていたが、紀元前300年以上前の中国の「蹴鞠(けまり)」から生まれたとの最近の説。これには英国の反発もあり、何やらきな臭い。



チーム構成は、興部小、沙留小、雄武小と沢木小の28名。

スタッフは、田中監督とコーチは堤田氏、浪岡氏、水木氏、神田氏、大原氏の5氏。

田中監督の指導は、「あまり勝ちにこだわることなく、楽しい雰囲気です。挨拶は一番大切」とのこと。過去の戦績では、今の中学校2年生が令和元年のU-11(5及び4年生で編成)北見地区大会で準優勝したのが最高。全道大会への出場を、あと一歩で逃した。目標は全道大会、練習時間は午後5〜7時、秋は暗くなるのが早い。夢を叶えるためにも、照明の設置など練習環境の整備をお願いしたいとのこと。

キャプテンは、沙留小6年生の佐藤琉斗君。「試合では、練習でやってきたことを生かせるよう頑張る。試合で負けたことや出来ない



キャプテンの佐藤 琉斗さん

かったことを反省し、練習の中で修正する」ことを心掛けています。最近はやいペースで相手に強く当たれるようになったことが自信につながっている。

親には天然芝の手入れや沙留からの送迎に、監督とコーチには毎回違う練習を考えてくれていることに感謝。

琉斗君は代々毛ガニ漁師の家系、将来は家業を継ぎたいと頼もしい。キャプテンとして、チームを強くするために、もっとしっかり練習したいと締めくくった。頑張れルゴース!!

(記)広報特別委員会

委員長 鈴木 精一

## 編集後記

2020年1月15日に国内で検知された新型コロナウイルス感染症の第一例目以来、2年半以上にわたりコロナ禍が続いています。議員活動もコロナ自粛を余儀なくされています。最近ではワクチンなどの効果もあり、重症化する人も減ってきています。これからは3密の回避や換気、手洗い、マスク着用などの感染対策を心がけながら、徐々にコロナ以前の生活をとり戻していかねればなりません。

ロシアの勝手な理由によるウクライナ侵攻は、多くの尊い人命を巻き込んだ大惨事となっています。また、経済的にもウクライナ侵攻以来、公共料金や食品など多くのものが値上がりが続いています。経済的にも大変厳しい状況が続くと思います。新型コロナウイルス感染症とウクライナ侵攻の一日も早い終息を望みます。

(記)広報特別委員会

副委員長 藤渡 昭博

広報委員長 鈴木 精一  
副委員長 藤渡 昭博  
委員 阿部 昭一  
委員 竹内 清  
委員 桑辺 博教  
議事事務局長 須田 寿史  
議事事務局主事 山根ありさ

